

平成23年度 決算説明書／事務事業評価シート

前年度課室名	上下水道課
課 名	上下水道課

預算	款	項	目	決算書	
	—	—	—	310	頁

目 名
—

事務事業名称
農業集落排水事業

1. 概要

目的	生活排水を適切に処理し、公共用水域の水質を保全するとともに、公衆衛生の向上を図る。	対象	処理区域内の市民
事業概要	○農業集落排水事業・・・三重町上田原、清川町砂田、緒方町馬場・中央・原尻・知田・井上の計7処理区域内の汚水を処理する。		
	【処理人口】1,052世帯 2,755人 【排水区域面積】151.2ha 【年間処理水量】374,701m³ 【処理区の内訳】 ①上田原処理区 処理人口；79世帯208人、排水区域面積；9.2ha ②砂田処理区 処理人口；209世帯587人、排水区域面積；52.5ha ③馬場処理区 処理人口；383世帯958人、排水区域面積；44.0ha ④中央処理区 処理人口；208世帯564人、排水区域面積；22.0ha ⑤原尻処理区 処理人口；56世帯145人、排水区域面積；9.0ha ⑥知田処理区 処理人口；56世帯134人、排水区域面積6.0ha ⑦井上処理区 処理人口；61世帯159人、排水区域面積8.5ha		

臨時／経	事業名	事業内容（主な経費等）		予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
						国・県支出金	市債	その他	一般	
臨時	農業集落排水事業	処理人口 2,755人 処理水量374,701㎡	償還金利子 および割引料	285,524	282,853	1,051	127,700	16,978	137,124	3
計				285,524	282,853	1,051	127,700	16,978	137,124	

2. 指標設定

成果指標	指標名	汚水処理人口普及率		目標年度	H27	指標の設定理由					
	数値	53%				総合計画／後期基本計画において、基本施策(3-1-2)の目標としているため					
活動指標	指標	a	農業集落排水		b		c			d	
	数値	目標	3,400人		目標		目標			目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
汚水処理人口普及率	%	43.7 %	45.6 %	48.1 %
		82.5 %	86.0 %	90.8 %

4. 課題と対応

課題
浄化槽の普及率は伸びているが、汚水処理人口普及率は、県下あるいは全国的に見ても下位に位置している。
対応（改善点等）
浄化槽の普及を促進するとともに、農業集落排水施設、公共下水道への接続を促進する。

活動指標名		単位	H 2 1	H 2 2	H 2 3
a	農業集落排水	人	3,341 人	3,308 人	3,260 人
			98.3 %	97.3 %	95.9 %
b					
c					
d					

5. 事業費・・・H 2 1～H 2 3（決算額）、H 2 4（予算現額）

決 算 額（千円）		H21	H22	H23	H24
うち経常経費		240,585	254,502	282,853	256,149
財源内訳	国 費				
	県 費	1,051	1,051	1,051	1,051
	市 債	52,700	69,600	127,700	75,200
	そ の 他	50,205	114,962	16,978	42,026
	一般財源	136,629	68,889	137,124	137,872
うち経常					
事業費に係る人件費		—	—	—	—

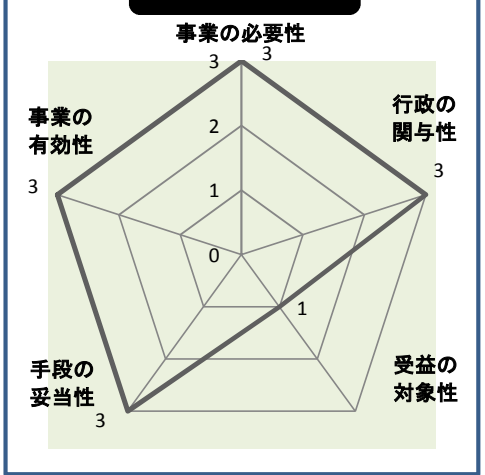
6. H25年度予算の方向性

方向性
減額
理由
公的資金補償金免除繰上償還制度の適用が終わるため。

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	良質な水環境づくりのため、生活排水による公共用水域の負荷を低減させる必要がある。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体になることが定められている。
③ 受益の対象性	事業対象の確認	1	処理区域内の住民を対象にしている。
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	汚水処理人口普及率を向上させるために必要な事業である。
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	3	汚水処理人口普及率が伸びている。

分析グラフ



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き未収金の回収に努めるとともに、適切及び効果的な事業実施を図ること。経営のあり方を検討すること。